

陽だまり

vol.26
2017.4月

発行 公益財団法人がんの子どもを守る会 広島支部「陽だまり」広報
事務局 〒734-8551 広島市南区霞1-2-3 広島大学病院小児科学教室内
TEL:082-257-5212 FAX:082-257-5214



ご支援・ご協力をいただき、ありがとうございます

春となり、こころ新たに、29年度の取組を考えているところです。旧年中は、当支部の活動にご支援・ご協力をいただき、ありがとうございました。おかげ様で、小児がんの子ども・家族へ笑顔を届ける活動を今年度も継続することができました。9月に行ったデイキャンプは、2泊3日で行った2009年以來の開催で、予想以上の参加がありました。また、バルーンアーティスト金本秀明さんに初めてお願いしたクリスマス会も大好評でした。今後とも、引き続きよろしくご支援くださるようお願いいたします。

(代表幹事 藤川京子)

活動報告

【第1回サニーピアデイキャンプが行われました】

9月22日(祝)に小児がんや小児血液疾患などの小児難病を経験した子どもとその家族を対象にサニーピアデイキャンプが行われました。天気はあいにくの雨でしたが、10時半に参加者(2歳から16歳の子どもとご家族)が広島県中央森林公園に集合し、開会式後、集合写真を撮りました。屋根があるサイトごとに分かれ、火をおこし、バーベキューを始めました。小雨のなか、芝生の上を走る回る元気な子どもたちの様子が印象的でした。小雨になり、猛獣狩りに行こう、ジャスチャーゲームをして子どもたちと遊びました。病院の専門医や保育士さん、チャイルドライフスペシャリスト、院内学級の先生も参加し、参加家族は、病気のことや日常生活で困ったことや悩みについて話し、病気と闘う経験者にしか分からない思いを共有し、時間の経つのはあつという間で、話がつきませんでした。参加者アンケートよりイベントに「参加してよかった」、「次回もまた参加したい」と全員が回答。「久しぶりに会えた友達や先生と話ができてよかった」「普段、子ども同士で遊べる機会が少ないので友達ができて子どもがとても楽しんでいたの、よかった」等の感想をもらいました。最後にご支援いただきました広島北ロータリークラブの皆様へ、心からお礼を申し上げます。(土路生)



クリスマス会を開催しました

12月16日に広島大学病院、21日に広島赤十字・原爆病院の子どもが入院する病棟にて、広島北ロータリークラブ、バルーンアーティストの金本秀明さんにご協力のもと、クリスマス会を開催しました。金本さんは色とりどりのバルーンでキャラクターを作って、プレイルームに集まった子どもさんたちに渡してくれました。お母さんたちも夢中になってバルーン制作を体験。最後は、大きく膨らんだバルーンに金本さんが入れられ、奇妙に動くバルーンを怖いと悲鳴をあげた子どもたちを前に、カウントダウンしてバルーンは割れ金本さんが脱出。子どもたちを楽しませてくれました。その日参加できなかった子どもたちにもバルーンをプレゼントし、その後、サンタからもクリスマスプレゼントを手渡すことができました。(山下)

【中四国支部合同交流会】

第4回がんの子どもを守る会中国四国支部合同交流会報告

平成28年11月5日(土)、6日(日)に岡山県岡山市の岡山大学、マスカットキューブにて第4回中国四国支部合同交流会が開催されました。1日目は講演「がんの子どもと家族が希望をもって過ごせるように」【子どもの認知症と晩期合併症】、「晩期合併症と長期フォローアップ」、「小児がん治療のこれから～影響の少ない治療を目指して～」の3つの講演とシンポジウム「小児がん一親たちの想い、願い」がありました。シンポジウムではご家族4人の方が告知、就職、ピアサポーターなどたくさんのお話を聞きました。その後の分科会では「教育・復学」、「進学・就職」、「晩期合併症」、「家族支援」の4つに分かれ家族、経験者も一緒にお互いの経験や悩みなどを話し、それを共有でき有意義な時間を過ごすことができました。2日目は講演「子どもと家族の希望のために～岡山大学病院の取り組み」交流会では「子を亡くした親のために」、「小児がん経験者の集い」、「支部活動、親の会の活動」の3つに分かれ交流をしました。講演では「そらぶちキッズキャンプ」に参加した子どもたちがきれいな空気の中たくさん友達とできたことなど発表しました。次回、第5回の中四国支部合同交流会は高知県で開催される予定です。(網本)



【第15回総会・交流会・子どもプログラムを開催しました】

平成28年6月26日に、広島大学歯学部研究棟にて、当会広島支部の「第15回総会・交流会・子どもプログラム」が開催されました。まず、総会にて、当会広島支部の昨年度の活動報告・会計報告および本年度の活動計画などが報告され、その後の交流会と併せて、患児のお父様やお母様、さらには高校生の経験者のお子さんにご参加頂きました。交流会では、それぞれの体験談のやりとりなど、活発な意見交換を行うことができました。また、ご両親が交流会に参加される間、別室では子どもプログラムが行われ、小学校1～6年生の11名が参加して本物の超音波装置の操作を体験しました。前回の本部での開催と同様、東芝メディカルシステムズにご協力を頂き、いつもは見られる側の子どもたちに見る側の体験してもらおうと、身近なものを

材料に操作の手解きを受けました。金魚やフルーツインゼリーを使ってディスプレイに写し出された画像に子どもたちは興味津々な面持ちでいろいろと角度を変えては内部の様子を観察し、さながら小さな研究者のようでした。また、事前に看護師さんから分かりやすく「からだのしくみ」も教わり、実際に聴診器や血中酸素濃度のモニターで自分の身体を診る体験は、さらに身体への関心を深めるものになったようです。なお、子どもプログラムの開催に際しましては、東芝メディカルシステムズの皆様、本部のソーシャルワーカーの樋口さん、そして、広島大学病院の医療スタッフの皆様など、たくさんの方のご協力を頂き、大変充実した意義深いものになりました。(山下)



INFORMATION

広島支部へのご支援ありがとうございました
広島北ロータリークラブ 前川恒策 永井幸治(敬称略)